

本時のねらい

・情報処理の順序を具体化するとともに、プログラムの制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考える。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

活用方法：Microsoft PowerPoint を活用して、自分が制作したプログラムを発表する資料を作成する。

ねらい：複数のメディア（文字、画像、音声、動画）を組み合わせるため、より分かりやすく伝える工夫を促したり、自分にあったコンテンツを選択させたりすることができる。例えば、作成したプログラムの動作を動画で紹介したり、プログラムの内容を画像で表したりすることが容易に実現できる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット端末 ・SCRATCH（WEB 版） ・Microsoft Power Point ・大型提示装置

本時の展開（全 7 時間計画：6 時間目）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ○教員が制作した発表用テンプレートを提示する。 ○発表用資料に含むべき項目を伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・課題の説明 ・プログラムの処理の流れ ・プログラムの制作過程で工夫したこと ・プログラムの制作過程で苦労したこと ・制作したプログラムの動作結果 ・プログラムの自己評価 ・今後の改善及び修正案 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型提示装置（モニター）で枠組み・フォーマットを示し発表用資料のイメージをもたせる。 ・実際に教員が作成したプログラムの発表動画を Teams 上にアップロードしておき、さらにイメージをもちたい生徒はいつでも閲覧できるようにする。
展開 (35 分)	<ul style="list-style-type: none"> ○Microsoft Power Point の作成工程資料のデータを配付する。 ○発表用資料を制作する 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙の資料と併せて、動画ファイルを Teams 上に配付しておくことで、スムーズな発表用資料の制作につなげる。
まとめ (5 分)	<ul style="list-style-type: none"> ○発表用資料の提出の方法を知る。 ○振り返りを書き、提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Teams 上に投稿することで、クラスメイトの発表資料を参考に提出日までに改善・修正することができる。 ・家庭学習でも作業が可能のため、本人が納得のいくまで発表用資料をくり返し修正することができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子

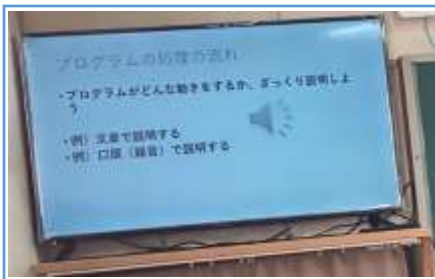


写真 1：本時のめあてや流れを説明する場面



写真 2：プログラミングを作成する場面



写真 3：生徒どうしが学び合う場面

児童生徒の反応や変容

- ・普段であればすぐに教員に操作の仕方を質問していたが、自分で資料を読み、動画を見ながら作業する主体的な態度が見られた。
- ・タブレット端末の操作が得意な生徒が、苦手な生徒に動画を見せながら教えている様子が見られた。
- ・クラスメイトの発表用資料から、自身の発表用資料を見返して修正・改善する様子が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・文章を読み取って理解することが難しい生徒にとっては、動画で作業内容を説明することは非常に有効だと感じた。
- ・Microsoft Power Point を用いた資料作成時に、動画や音声の取り込み方を示すことで、文字で伝えたり、ナレーションで伝えたりするなど自分に合った方法を選択できる。
- ・改善、修正が容易な ICT 機器を用いることで、発表方法の工夫を促しやすい。